

田端文士村シリーズ
劇団文化座公演

芥川龍之介

恋から はじまる 物語

「羅生門」「戯作三昧」「杜子春」より

構成／演出 原田一樹

じつは、作家芥川龍之介は、後に妻となる文ふみに、
たくさんの「恋文」を書いていきます。
え、あの芥川が？ ええ、あの芥川が……

出演者

小谷佳加

上山裕子

松永佳子

岩崎正芳

深沢 樹

神崎七重

原田琴音

2022年2月5日(土)・6日(日)

北とぴあ つつじホール

共催：公益財団法人北区文化振興財団 田端文士村記念館

田端文士村シリーズ
劇団文化座公演
芥川龍之介

恋から
はじまる
物語

「羅生門」
「戯作三昧」
「杜子春」より

構成/演出
原田一樹

照明 加藤俊彦
音楽 和田 啓
音響 齋藤美佐男
衣装 西原梨恵
舞台監督 宮崎義人
制作 小林悠記子

出演者と
一緒に

★散策ツアー

芥川龍之介旧居跡等、田端文士村記念館
研究員が当時のエピソードを交えながら田端の
まちをご案内します。

【予定コース】※60分程度を予定

田端文士村記念館出発 → 芥川龍之介旧居跡 →
(芥川の披露宴会場)天然自笑軒跡 →
(芥川が通院した)楽天堂医院跡 → 東覚寺 →
ポプラ倶楽部跡

●1月15日(土)11:00開始(10:30受付)

※お申込み・お問い合わせは文化座まで

CAST



小谷佳加



上山裕子



松永佳子



岩崎正芳



深沢 樹



神崎七重



原田琴音

あらすじ

芥川龍之介はたくさんの顔を持った作家です。「羅生門」を書いた時はまだ大学生。優等生。芥川家の跡取り息子。恋をして失恋して、又恋をして許嫁(いいなずけ)。そして夫。その頃は英語の教員。文壇デビューして新人作家。歴史小説家。短編作家。筆一本で家族を支える一家の主(あるじ)。締め切りを抱える売れっ子。子供が生まれて父親。「蜘蛛の糸」や「杜子春」の童話作家。よく手紙を書いた筆忠実(ふでまめ)。随筆家。評論家。詩人……。芥川自身、時々色々な自分が喧嘩をするので困る、と書いています。一つの色で塗り上げてしまう人物画に深みはありません。今回は七人の俳優たちが七色の色鉛筆で、今までない芥川をスケッチしてみます。

2022年2月5日(土)・6日(日)

北とぴあ つつじホール(東京都北区王子)

2月5日(土)	2月6日(日)	
16:30 開演	12:30 開演	16:30 開演

※開場は開演の30分前 ※上演時間=約90分。途中休憩はございません。



- 東京メトロ南北線「王子駅」5番出口直結
- JR京浜東北線「王子駅」北口から徒歩2分

料金(全席指定・税込)

前売開始 12月22日

- 一般/4,500円 ●Uシート/4,000円 ●25歳以下/3,000円
- 高校生以下/2,000円 ●北区民割引/4,000円※

※東京都北区在住の方は、割引価格で購入できます(お一人様4枚まで)。

販売はほくとぴあチケットオンライン(要事前登録)・北とぴあ1階チケット売場(北区在住を確認できるものを要提示)のみ。

お申込み・お問い合わせ

劇団文化座 TEL03-3828-2216

(日曜・祝日を除く10時~18時)

E-mail: info@bunkaza.com

●劇団公式HPからもご予約できます



【公式HPのQRコード】

文化座
アプリ
始めました!



■ほくとぴあチケットオンライン
https://p-ticket.jp/kitabunka

■ほくとぴあ1階チケット売り場窓口のみ10時~20時
(臨時休館日は10時~18時、全館休館日は休業)

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

劇団文化座創立80年/沖縄返還50年

特別公演

命と宝

作=杉浦久幸 演出=鷗山仁

戦後の沖縄において、祖国復帰運動に身を捧げた、反米抵抗運動の英雄的存在である瀬長亀次郎(セナガ カメジロウ)。非暴力主義を貫いた、沖縄の反戦平和・基地撤去闘争のシンボリック的存在である阿波根昌鴻(アハゴン ショウコウ)。若き日の二人の姿を通して、不屈の魂が、いま再びここに蘇る!

2022年

〈東京公演〉1月26日(水)~30日(日) ▶亀戸文化センター
〈沖縄公演〉2月10日(木)・11日(金) ▶琉球新報ホール(那覇)
〈沖縄公演〉2月13日(日) ▶名護市民会館大ホール(名護)